

国土交通省 九州地方整備局 河川部

入 省 案 内

土木 宮 繕 （技術区分：建築）



土木営繕とは・・・

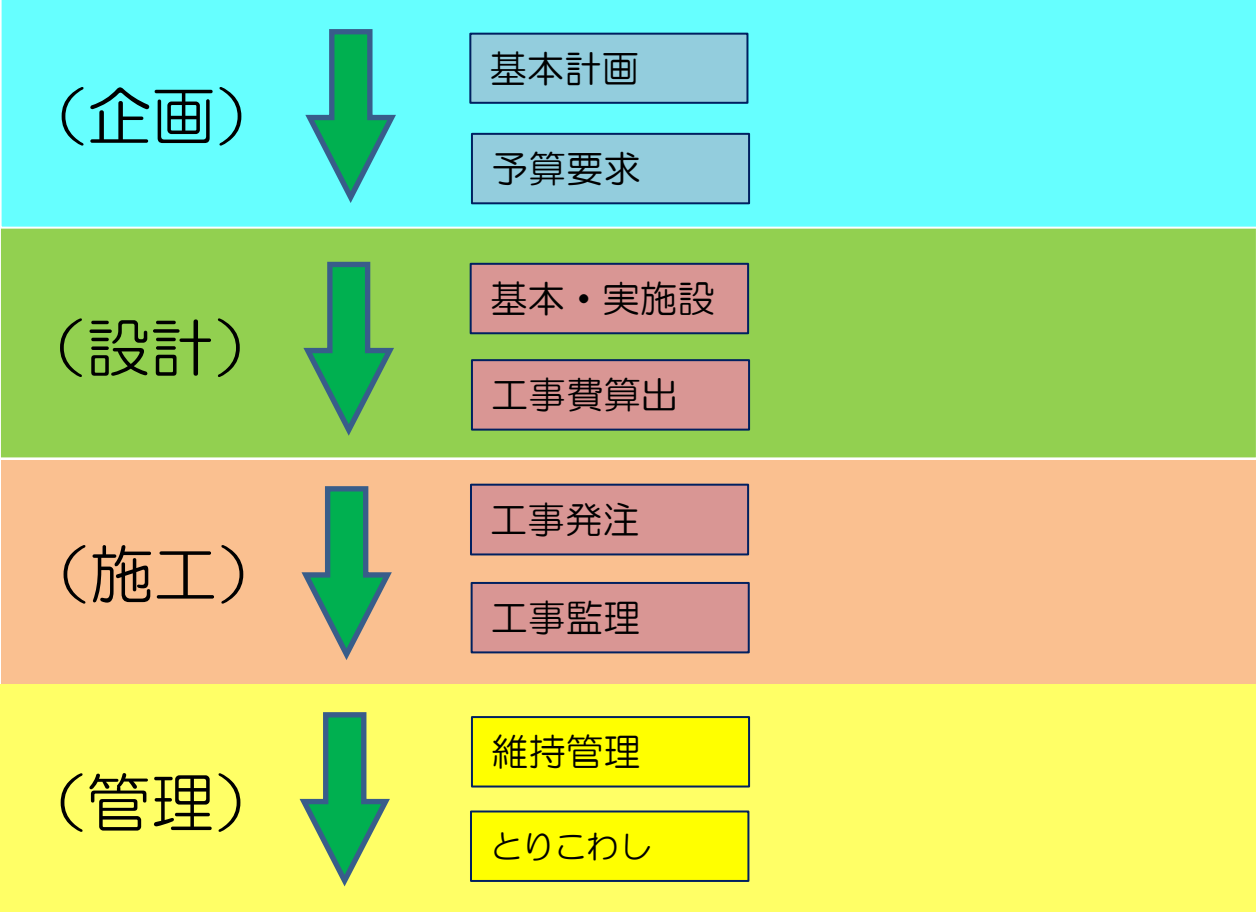
国土交通省では、「営繕」※を担当する職員が所属する組織として、「官庁営繕」と「土木営繕」があります。
（※営繕とは、「建築物の営造と修繕」のことをいい、建築物の新築、改築、修繕、模様替え等の工事を指します。）

どんな仕事をしている？

土木営繕では、九州地方整備局管内（営繕事務所・港湾空港関係を除く）の各事業における建築物の整備・管理を行っています。具体的には、河川・国道事務所庁舎及び出張所庁舎、河川・砂防事業では水門・ダム operates、土石流監視などの河川・砂防管理施設、道路事業では道路トンネルの電気供給、道の駅の道路情報提供などの道路管理施設、公園事業では国営公園のレクリエーション施設や文化的資産の保存活用を図る施設、そのほか職員宿舎の整備・管理を担当しています。

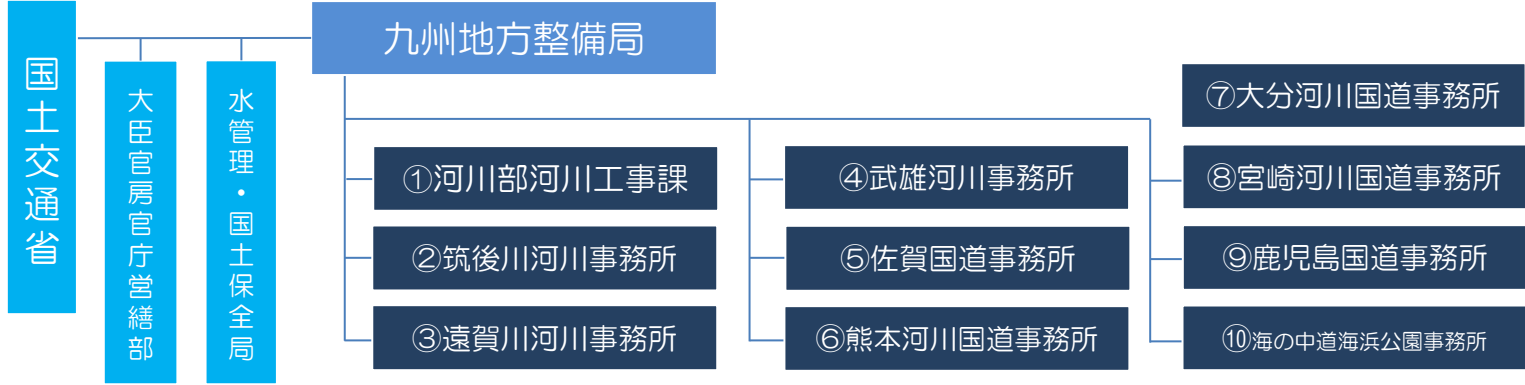
土木営繕業務について

九州地方整備局内の事務所（営繕事務所・港湾空港関係除く）事業における建築物について、計画から施工、管理まで、建築物に関するすべての分野に携わります。



計画段階から、設計・施工監理の実務を行うなかで、建築のみではなく、電気設備、衛生・空調設備の設備分野も担当するため、幅広い技術力が習得できます。
土木営繕は、トータルで建築物をコーディネートするインハウスエンジニアとして活躍してい

土木営繕の組織



勤務先
活躍の場は九州各地に10箇所あり、各地域の特色ある施設整備を行っています。



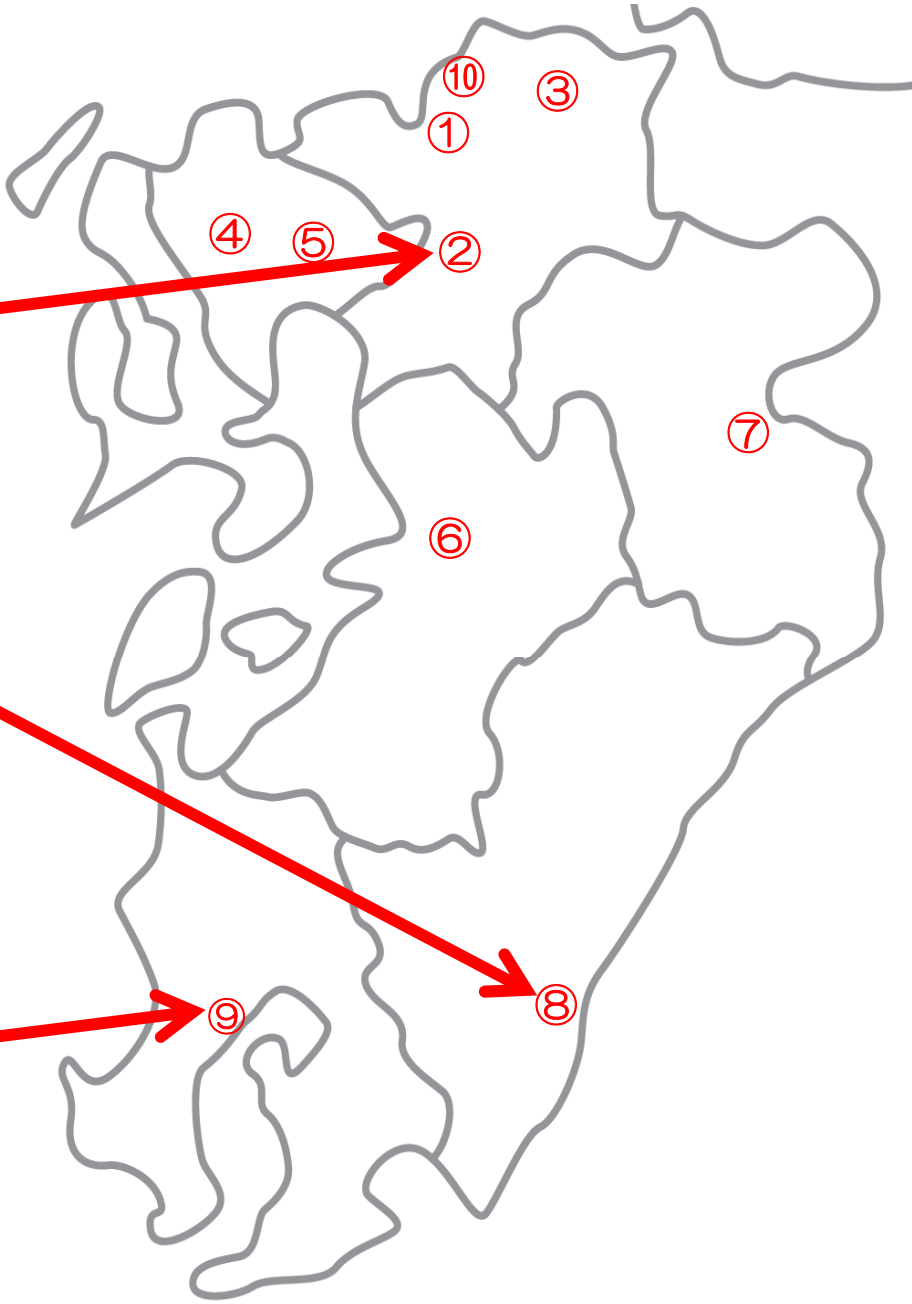
筑後川河川事務所



宮崎河川国道事務所



鹿児島国道事務所



土木営繕のとりくみ

災害応急対策活動施設の整備

九州地方では地形や気候の関係で火山噴火、洪水、土砂崩れ、高潮、地震などによる災害が毎年のように起こっている。このような自然的条件下で、国土を保全し、国民の生命、身体及び財産を災害から保護する防災対策を行政上最も重要な施策と位置づけている。そうした防災対策の災害発生後の被害拡大防止を図るための迅速かつ適切な応急対策活動を行うための施設、災害を未然に防止するための施設の整備を行っています。

庁舎関係

国土交通省の庁舎は、災害応急対策活動に必要な施設と位置付けられ、災害対策の指揮、情報伝達等のための施設として、耐震性能が高く、予備発電設備を備えた施設整備を行います。

平成28年の熊本地震では、近隣住民の一時避難所として使用されました。

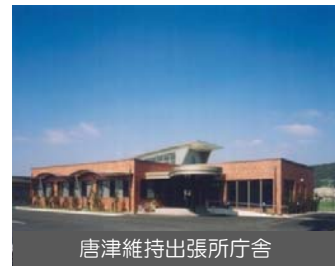
主な施設：河川・国道事務所、河川・道路出張所、ダム管理所、復興事務所、技術事務所など



筑後川河川事務所庁舎



鹿児島国道事務所庁舎



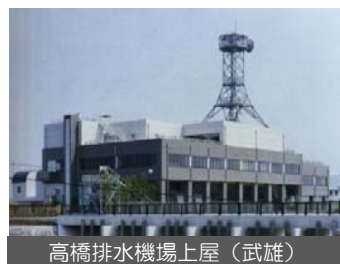
唐津維持出張所庁舎

河川・ダム・砂防管理施設

大雨時に河川の流量調整のための堰や水門、ダムの操作を行う建築物や家屋の浸水を防ぐための排水ポンプ場上屋などの整備を行います。また雲仙、桜島には大規模な土石流の情報収集のための監視施設の整備も行っています。



嘉瀬川ダム管理所庁舎



高橋排水機场上屋（武雄）



桜島国際火山砂防センター

道路管理施設

道路情報の発信・提供を行う施設や道路トンネル内の電気供給のための受電・発電機設備及び火災時の消火ポンプを格納する施設などを整備します。



道路情報センター



トンネル換気所



トンネル電気室

憩い空間の提供

公園施設

九州には、2箇所の国営公園があります。海の中道海浜公園公園は九州北部の広域圏のレクリエーション施設とし、吉野ヶ里歴史公園は文化的資産の保存活用を図るための施設整備をそれぞれ行っています。



海洋生態科学館（海の中道）



復元建物（吉野ヶ里）



海の中道海浜公園内研修施設

道の駅施設

トイレや道路情報・地元観光PR等を行う情報提供施設の整備を行っており、地元自治体等が整備する物産館などと共に道路利用者のサービス向上に貢献しています。



道の駅たるみずはまびら



道の駅阿蘇



道の駅豊前おこしかけ



学習施設

国土交通省が実施している事業を一般の方に知ってもらうための広報施設や河川の水質や環境改善について学習する施設整備を行います。



鹿屋水辺館



相知観測施設



鹿本水辺学習館

先輩職員

宮崎河川国道事務所 工務第一課

技官 正代 敦士

建築（大卒程度）/平成28年入省



●担当業務

道の駅の休憩施設や東九州道のトンネル電気室の新築工事の発注をはじめ、建物の設計業務の発注、工事現場の施工監理、施設の保守管理などに携わっています。主に宮崎県内の管理施設の建築物を全て担当しています。

●この仕事の魅力について

建物の計画から始まり、設計・施工・管理・解体までの一連の流れ全てに携わることができ、若手でも自分の意見や思想を積極的に反映できるのが魅力です。また、仕事を通して多くの方と関わることができ、積極的にコミュニケーションをとることができるのも魅力です。

ある1日のスケジュール

7:00 ・起床
8:00 ・出勤
8:30 ・始業
（メールチェック、スケジュール確認）
8:50 ・工事発注書作成
11:00 ・打ち合わせ
12:00 ・昼食
13:00 ・工事現場へ出発
（現場まで約1時間）
14:00 ・工事監理
16:30 ・事務所帰着
17:15 ・少し残業
（工事監理書類の整理）
18:15 ・退庁
18:30 ・帰宅
19:00 ・夕食・テレビ・入浴
24:00 ・就寝



先輩職員

河川部河川工事課 施設係長

中尾 勝成

経歴

H8 宮崎工事事務所

H12 熊本河川国道事務所

H16 武雄河川事務所

H20 河川部河川工事課

H24 熊本営繕事務所

H28 河川部河川工事課



●今まで携わった工事で印象に残っていること

入省2年目で老朽化した宮崎河川国道事務所の建替工事（延べ面積3,230㎡）に携わり、建築工事・電気設備工事・冷暖房衛生設備工事の設計から完成まで経験する機会がありました。2年目という事で不安もありましたが、上司や先輩のアドバイスにより不安も解消され、楽しみながら仕事ができ、完成する事ができました。また、完成後は事務所の方より、「良い建物ができたね」「綺麗になったね」など声かけられ、嬉しかった事が印象に残っています。

●この仕事のやりがい

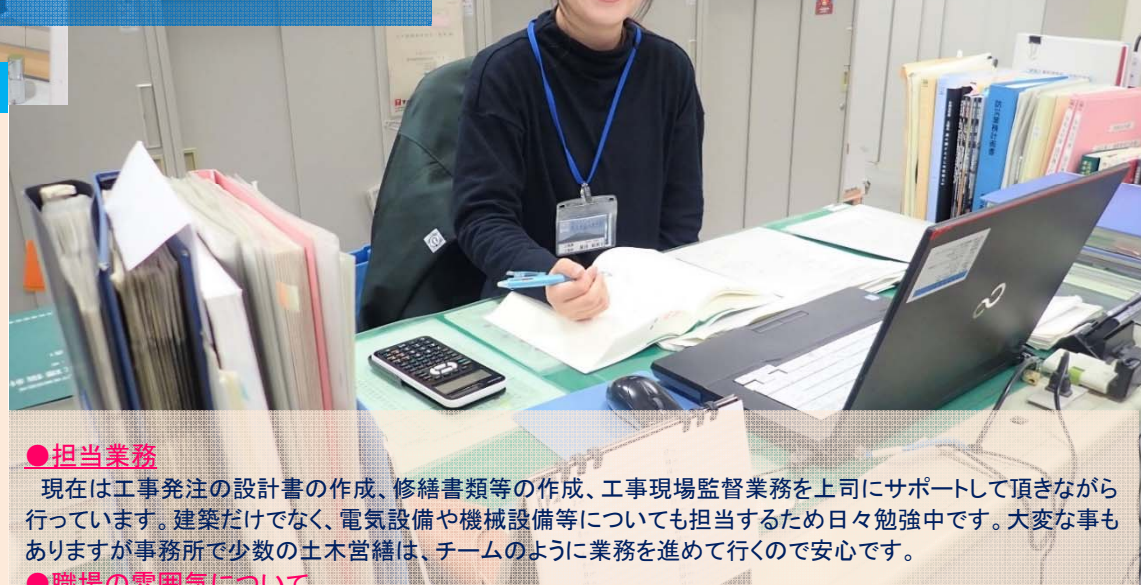
建物の企画・設計・積算・工事監理・管理の全てに携わる事ができ、建築だけでなく電気設備・冷暖房衛生設備も担当できます。大変な事もありますが、建物の全てに関わり自分の考えを建物に反映できるため、建物が完成した時は“達成感”が感じられます。また、職場では上司・先輩のサポートもあるため安心して仕事ができる職場です。



鹿児島国道事務所 工務課

技官 原田 裕美子

建築（大卒程度）/平成30年入省



ある1日のスケジュール

6:30 ・起床
8:00 ・出勤
8:30 ・始業
（メールチェック、スケジュール確認）
8:50 ・工事発注書作成
・課内打ち合わせ
（上司との打ち合わせ）
11:00 ・工事現場へ出発
（途中、昼食）
13:00 ・工事受注者協議
（工事進捗確認、変更箇所確認）
16:00 ・事務所帰着
17:15 ・退庁
17:40 ・帰宅
18:30 ・夕食・入浴・読書
23:00 ・就寝

●担当業務

現在は工事発注の設計書の作成、修繕書類等の作成、工事現場監督業務を上司にサポートして頂きながら行っています。建築だけでなく、電気設備や機械設備等についても担当するため日々勉強中です。大変な事もありますが事務所で少数の土木営繕は、チームのように業務を進めて行くので安心です。

●職場の雰囲気について

明るく話しやすい職場であることはもちろん、同期や他事務所の方々とも仲良くなれます。管内対抗の野球大会や若手メンバーで地域のマラソン大会出場、また今所属の工務課では年に一度旅行会を開催するなど業務以外でも充実して過ごしています。

大分河川国道事務所
工務第一課 施設係長

仲松 洋二

経歴

H20 国営海の中道海浜公園事務所

H23 筑後川河川事務所

H24 鹿児島国道事務所

H26 河川部河川工事課

H29 国営海の中道海浜公園事務所

H31 大分河川国道事務所



●この仕事のやりがい

企画から設計、施工まで一貫して携わります。そのため、範囲が広く大変ですが、企画段階から携わった施設が、完成し、利用されていることに達成感を感じます。それが、この仕事のやりがいです。

●この仕事の魅力

仕事の半分は、地域振興や安全安心の国民生活を支えるのための施設整備です。例えば、トンネルの通行に欠かせない電気を供給する施設や出水時の河川やダム監視・防災対応を行う施設です。これらは普段目に付くことがない施設ですが、国民生活を守るため無くてはならない施設です。決して目立ったことをやる訳ではありませんが、誇りを持ってやれる仕事だと思います。



研修制度

Training

自分を磨くスキルアップをしっかりサポート

技術を身につけたい！

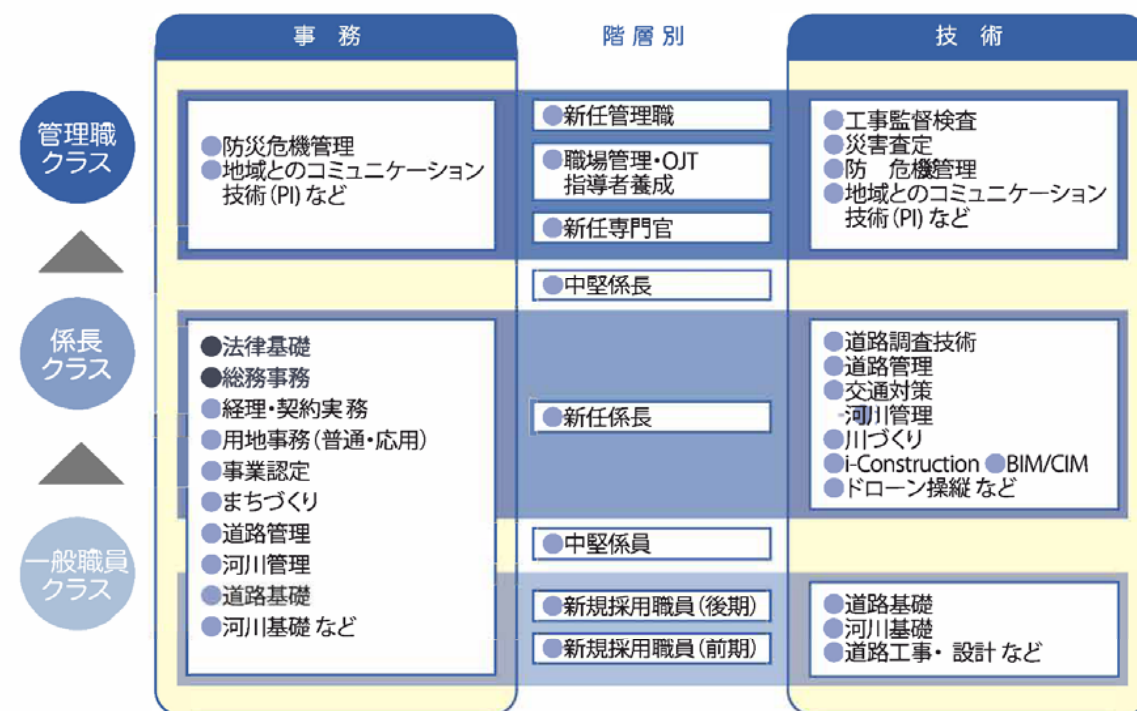
自分をもっと高めたいという方のために
さまざまな研修の場を用意しています。

九州地方整備局では、入省してすぐに国家公務員としての使命、役割を学ぶ新規採用職員研修を実施しています。その後も、職種・各階層に応じた基礎的な研修や、専門的な分野の研修を九州技術事務所研修所（久留米市）で学ぶことができます。

また、国土交通大学校（東京都小平市）などにおいて高度かつ広範囲な研修を実施しています。これらの充実した取り組みにより、職員のスキルアップをしっかりとサポートします！



研修名	実施時期	期間	研修内容
新規採用職員（前期）	採用直後	約1週間	国家公務員としての任務や心構え、組織人として必要なマナー・知識、グループにおけるチームワークやコミュニケーション活動などについて習得を行います。
新規採用職員（後期）	採用後半年後	約1週間	国土交通行政に係る多くの分野の知識を身につけるために、九州地方整備局の各事業や業務の概要について学び、実務能力の養成を図ります。



トンネル点検の現場研修



BIM/CIM演習



川づくり研修



ドローン操縦実習

福利厚生など

九州地方整備局 Q & A !

Q 初任給は？

一般職(大卒程度)試験合格者
182,200円～

一般職(高卒程度)試験合格者
150,600円～

このほか、通勤手当、超過勤務手当、扶養手当、住居手当、地域手当などが支給されます。
ボーナスは年2回（6月、12月）〈合計約 4.5ヶ月分〉※給与関係については、人事院勧告により内容や金額等が変わる場合があります。

Q 勤務時間や休暇は？

勤務時間 8:30～17:15

※福岡市内での勤務は9:15～18:00
※休憩時間12:00～13:00(7時間45分)
※希望によりフレックスタイムを利用できます。

休 暇 年次休暇:年20日(採用の年は15日)

(20日までは翌年に繰り越し可能で最大40日間まで)

特別休暇:夏季休暇(7～9月のうち連続する3日間)

※その他結婚、出産、ボランティア、忌引き休暇など

その他の休暇:病気休暇、介護休暇、
育児休暇など

休 日 完全週休2日制、年末年始の
12月29日～1月3日、国民の祝日など

Q 残業や休日出勤は？

残業の有無については、部署によって異なるので一概には言えませんが、業務の都合上残業を行った場合は、超過勤務手当が支給され日です。また災害対応などで休日出勤を行った場合は、代休がもらえる制度があります。

Q 配属先や転勤は？

配属先は本局または九州管内の事務所となり、概ね2～3年のサイクルで部署を異動し、様々な職務を担当するととで経験を積んでいきます。必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、毎年、勤務地や職務に関する意向を提出し伝えることができます。九州地方の各地で新しい出会いや貴重な経験ができるので、転勤を楽しんでみるのも良いと思いますよ！

Q 住むところは？

各事務所の近くに宿舎（独身、世帯用宿舎）があり、希望に応じて貸与します。民間の賃貸住宅を借りた場合にも、27,000円を上限として、家賃の半額が住居手当として支給されます。

Q 建築士資格の取得は必要？

職場での業務において、建築士資格の保有が必要な設計も行います。これらの業務においては、ほぼ外注のため、建築士法で定められている設計者の建築士資格保有は必ずしも要していません。ただし、建築技術・関連法規等の常識の習得、さらには一定の職位に達した時に発注者として、建築士法で定められた「工事監理者」として建築士の資格が必要となりますので、取得しておいた方が良いでしょう。



国土交通省 九州地方整備局 河川部

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7

TEL 092-471-6331(問い合わせ先:内線3714)